

2020(令和2)年10月10日発行

熊本私教連ニュース

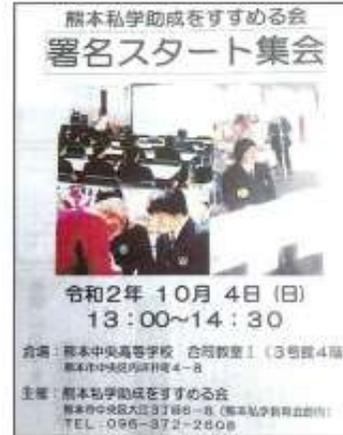
第1071号

まず、開会後は竹原熊本私教連執行委員長より私学助成について解説がありました。私学助成のしくみから始まり、「私学の学費が高いのは当たり前か」、諸外国の授業料について比較したり、就学支援金制度が始まってからの全国や熊本県での動きについて熊本が国からの助成金に対して県単独予算をどんどん削減していく、もしくは変化なしということを説明され、その後は二〇二〇年度の私学助成運動の方針についても高校生にもわかりやすく説明していただきました。



十月四日に熊本中央高校にて私学助成をすすめる会主催の『署名スタート集会』が開かれました。

今年度は新型コロナウイルスの関係でなかなか活動が進まない中ではありましたが、ようやくセルフティビディスタンス(安全な距離)を保ちながら、広い教室で七学校七〇名の参加をしていただきました。



私学助成をすすめる会『署名スタート集会』開催

熊本私教連
ニュース

発行者
熊本私学教職員
組合連合
〒862-0971
熊本県熊本市大江
3-11-6-8
三祐ビル4階
熊本私学教育会館内
TEL096 (372) 2608
FAX096 (372) 5326

私学に光りを
教育に公平を

“遅い”ということはありません
県全体で署名の気配をつくるのが大事
各都道府県でスタート集会や学習会
そして街頭宣伝に旺盛にとりくもう

熊本スタート集会を開催

10月4日に熊本中央高校を会場にして開催された「私学助成署名スタート集会」の様子が届きました。教職員、父母、高校生、協力共同団体が参加しました。(詳細は記事参照)

滋賀:私学助成学習会 & 渾身会(懇親会)開催

「つながる場」としての「学習会」の県組織で企画開催を
岩手の高校生私学助成学習会だけでなく、私学助成署名の「スタート集会」、「学習会」が各地で開催されています。愛知では、21 学園で教職員、25 学園で父母、6 学園で生徒の学習会が開催されています。

次に、高校生自主活動部として活躍している九州学院ボランティア部二名からの声、くまもと父母懇から一名、友人や子どもさんが私学に通うことについて学費負担についてのエピソードについて話していただきました。

最後は、参加している七つの学校より今年度の私学助成の取り組みについてど



次に、これまで私学助成署名に多くのご協力をいただいております、熊本県労働組合総連合(以下、熊本県労連とする)の榎本議長にも来ていただきました。榎本議長は憲法に関する話をされ、「今のこの国は法治国家として壊れている。憲法は、国や政府が守る法律なのに、あらゆる分野で国が憲法を守っていない(立憲主義の崩壊)。憲法で一番大切なのは、二五条(生存権)と一三条(幸福追求権)」。これらの人格権を守るために教育権(二六条)、団結権・団体交渉権等(二八条・労働基本権)を憲法は保障している。それにも関わらず、私学に学ぶ子どもたちの学習の権利は奪われ、子どもたちに学習の機会を与える大人たちは、安い賃金を我慢して必死に働かざるを得ない。(学費問題を)どうかしようとして署名に取り組む私教連の先生たちは「組合のやることだから」と白い目で見られる、このような現実はおかしいのではないか」といったことなどを、高校生の前で初めて語られました。

熊本県議会への請願
国会への請願

右の図は今年度の署名用紙とチラシ

「私学助成増額の署名」にご協力をお願いします

私学学費補助予算から県単独予算が大幅削減!!

熊本県はどうする!?

私学学費補助予算から県単独予算が大幅削減!!

年度	私学学費補助予算	県単独予算
2019年度	1,000億円	1,000億円
2020年度	1,000億円	500億円
2021年度	1,000億円	200億円
2022年度	1,000億円	100億円

熊本私学助成をすすめる会
〒862-0971 熊本県熊本市大江3丁目11番6号8号 熊本私学教職員会館内 TEL: 096 (372) 2608 FAX: 096 (372) 5326

お知らせ
今現在、署名配布は開始されています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止署名配布期間の短さでいつも以上に署名集めが厳しいかもしれませんが、皆様のご協力をお願いいたします。

のように進めていくのかについて話をさせていただきました。

10月10日(土)には、**滋賀**でオンラインを活用した学習会が開催されました。「渾身会」となづけられた懇親会が後半にセットされる学習会でした。私学助成制度と運動についてしっかり学んだ後、それぞれが、食べ物と飲み物を準備して渾身会へ参加。自己紹介ではその食べ物と飲み物も込みで紹介する企画で、学校枠を越えた参加者が「食べ物」を間にお互いを知り合う企画になっている点が工夫が凝らされました。出色なのは、この夕食、飲み物費用を上限を決めて滋賀私教連が負担する(きちんと共済の説明パート参加を条件としていました)という仕掛けです。参加した青年の中には、「学園外の方と出会う機会を心待ちにしていました」と発言される方もいました。実は、**みなさん「集まる場」を求めておられます。その「場」として「私学助成学習会」を全都道府県で今からでも企画していきましょう。**

大阪のS高校でも12日に私学助成の学習会が開催されました。8月下旬に府のすすめる会主催の学習会を受け、学園としても開催したものです。何のための教育署名なのか自校の教育と照らし合わせながらみんなで学び、思いを出し合ったそうです。「(S高校が)憲法、教基法の理念を具現化する場所でありたい、そのために運動をみんなで続けていこう」と確認しあう場となったそうです。